



昭和58年（1983年）5月、置県百年記念事業として、宮崎市船塚の宮崎大学農学部跡地に「県総合文化公園」を建設する構想が発表され、翌年3月に図書館の移転と新館建設が決定しました。

新館建設計画の中で、新館（4代目館）は、①資料の援助や参考相談業務に対する協力などを行う「**県内図書館活動の協力センター**」 ②参考資料の収集・保存や参考相談などを行う「**調査研究センター**」 ③県に関する資料や古文書等の収集・保存・提供を行う「**郷土総合資料センター**」 ④視聴覚資料の収集・保存・提供等を行う「**視聴覚資料センター**」 という4つの役割と機能を担っていくこととされました。

市町村との役割を明確にし、県内公共図書館の中核となる施設として、豊富な資料の収集・整備に努め、コンピュータシステムを導入した新たな機能を有する図書館として、昭和63年（1988年）5月に開館し、今日に至っています。